



ENEOS株式会社 仙台製油所

〒985-0901 仙台市宮城野区港5-1-1

電話番号 022-363-1122、フリーダイヤル 0120-330-201

<https://www.eneos.co.jp/company/about/branch/sendai/local/brochure.html>

東日本大震災から10年

今年の3月11日は東日本大震災から10年の節目となりました。構内では、当日午前中、津波で亡くなられた4名の協力会社社員の方々を悼み、幹部所員が構内慰霊碑前に参列し、安全への誓いの言葉とともに、所員を代表して渡邊所長から献花を捧げました。

また、地震発生時の14時46分には、構内で1分間の黙とうを実施しました。黙とうの前には、講堂で出席者を限定（協力会社代表者含む）した上で、追悼式を行い、構内放送を使用して、全所員・協力会社社員に向けて、渡邊所長から安全へのメッセージを発信いたしました。

ENEOS仙台製油所は、震災の教訓を活かし、これからも安全操業に努めてまいります。



慰霊碑に献花を捧げる幹部所員

地震による装置稼働状況について

2月13日に発生した福島県沖を震源とする地震により、構内では自動安全装置が作動して、すべての精製装置が自動停止いたしました。

この地震により、一部設備で、少量の油の漏えいを認めましたが、消防連絡の上で迅速かつ安全に対処をいたしました。海上等への流出はございません。その後、装置の再稼働に向け準備を進めていたところでしたが、3月20日に宮城県沖を震源とする地震が発生したため、現在、あらためて設備の再点検を実施しております。

今後、装置を再稼働させる際に、一時的にフレアスタックの火炎が大きくなるなど、地域の皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、なにとぞご理解賜りますよう、お願い申し上げます。

なお、現在、弊所での石油製品の生産は停止しておりますが、ENEOSの他製油所等から船により製品を受け入れ、製油所出荷は継続しておりますので、安定供給に支障はございません。

弊所における新型コロナウイルス感染者の発生について（当所3例目）

このたび、仙台製油所に勤務する所員1名が、新型コロナウイルスに感染したことが判明いたしました（3/13（土）陽性反応を確認、3/15（月）弊社ホームページ掲載）。

当該社員1名は、社外の陽性者との濃厚接触者であることが判明したため、3月12日（金）にPCR検査を受け、3月13日（土）に陽性と判明いたしました。当該社員は、3月5日（金）以降は出社しておらず、保健所確認のもと、所内では濃厚接触者はありません。現在は保健所の指示に基づき、医療施設を退院して自宅療養しております。

地域の皆様にはご心配をおかけしましたこと、深くお詫び申し上げます。

弊所は、引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止の徹底を図ってまいります。